

科名 外科
 対象疾患名 HER2陽性の乳癌
 プロトコール名 <臨床試験><コントロール群>Per+HER+DTX2コース目以降

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	パージェタ 生食	420mg 250mL	30分かけて	↓						
3	点滴注	側管	トラスツズマブ 生食	6mg/kg 250mL	30分かけて	↓						
4	点滴注	側管	デキサート 生食	6.6mg 50mL	30分かけて	↓						
5	点滴注	側管	ドセタキセル 生食	75mg/m ² 250mL	60分かけて	↓						

★1クール21日

～MEMO～

<臨床研究レジメンであり、当院で通常行われているレジメンとは異なる点がある。>

催吐レベル2(10%以上30%未満)

day2-3にデカドロン1回4mgを1日2回朝、夕食後に服用する。

<パージェタ>

初回840mgを60分以上、二回目以降は420mgを30分以上かけて

初回投与の13%にインフュージョンリアクション。投与中または投与開始後24時間は慎重に観察

通常の患者は12週ごと、無症候性心機能障害患者は6～8週ごと心機能を評価

<トラスツズマブ>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。

禁忌:アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<ドセタキセル>

調製時、完全に溶解、混和したことが確認できるまで緩やかに混和操作を繰り返すこと。

初回、二回目まではアレルギーの出現に注意。

投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

薬剤の特徴により1mL=20滴とならないため滴下数を1.5倍にすること。

(1hrで滴下する場合126滴/分)